

# 令和3年度 第1回 貸出文庫新着案内

予約受付開始：令和3年9月28日（火）午前9時から

書名	著者	出版者（年）	頁	内容説明
美しき愚かものたちの タブロー	はらだ 原田マハ	文藝春秋 (2019.5)	441p	モネ、ルノワール、ゴッホ…。日本の若者に本物を見せたい。その一心で絵画を買い漁った男がいた。国立西洋美術館の礎“松方コレクション”の奇跡を描く感動作。 令和2年度埼玉県推奨図書 高校生・青年向け
心淋（うらさび）し川	さいじょうなか 西條奈加	集英社 (2020.9)	242p	飯屋を営む与吾蔵は、根津権現で小さな女の子の唄を耳にする。それは、かつて手酷く捨てた女が口にしていた珍しい唄だった。もしや己の子ではと声をかけるが… （「はじめましょ」）。他、全6編。生きる喜びと哀しみが織りなす、渾身の時代小説。 第164回直木賞受賞
お 推し、燃ゆ	うきみ 宇佐見りん	河出書房新社 (2020.9)	125p	逃避でも依存でもない、推しは私の背骨だ。アイドル上野真幸を”解釈”することに心血を注ぐあかり。ある日突然、推しが炎上し…。デビュー作『かか』が三島賞候補の21歳、圧巻の第2作。 第164回芥川賞受賞
雲を紡ぐ	いぶきゆき 伊吹有喜	文藝春秋 (2020.1)	360p	壊れかけた家族は、もう一度、一つになれるか？羊毛を手仕事で染め、紡ぎ、織りあげられた「時を越える布・ホームスパン」をめぐる親子三代の「心の糸」の物語。読む人の心を優しく綴んでくれる1冊。 埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本2020
52ヘルツのクジラたち	まちだ 町田そのこ	中央公論新社 (2020.4)	260p	自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる。注目作家・町田そのこの初長編作品。 第18回本屋大賞受賞
少年と犬	はせせいしゅう 馳星周	文藝春秋 (2020.5)	308p	震災のショックで心を閉ざした少年は、その犬を見て微笑んだ…。表題作他、「男と犬」「泥棒と犬」「夫婦と犬」など、全6作を収録。犬を愛するすべての人に捧げる感涙作。 第163回直木賞受賞
るい 類	あさい 朝井まかて	集英社 (2020.8)	494p	鷗外の子であることの幸福。鷗外の子であること不幸。 明治の文豪の家に生まれた宿命を背負い、何物かであろうともがき続けた森鷗外の末子、類。その愛と苦悩に満ちた生涯。 第71回芸術選奨・文部科学大臣賞（文学関係）受賞

※上記内容説明は「トーハンマーク」、  
『類』は「集英社文芸ステーション」（<https://www.bungei.shueisha.co.jp/>）から引用

- ・ 1タイトルにつき20冊所蔵しています。
- ・ 申込先：埼玉県立熊谷図書館 図書館協力担当 TEL：048-523-6291（代表）  
FAX：048-525-2667（図書館協力担当直通）